

港区立高松中学校

令和 5 年度 授業改善推進プラン

国語	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着 ・情報の読み取り方と記述力の向上 	問題全般に取り組み意欲的に解く姿勢はある。記述問題にも取り組むが、読み取った情報を正しく記述する能力が他と比べて不十分である。自由記述は得意でも、書かれていることを書き換える練習が足りていないのが課題である。	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取った内容を確認する機会を増やす。自分で書き、全体で確認する回数を増やすことで情報を読み取る能力の向上を目指す。 ・主述を正しく、読みやすい文章を作るように指導する。自分で書いた文を班員と添削する機会も設けることで、自分の文章を客観的に振り返り、書く能力の向上につなげる。

社会	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方、考え方を働かせる力 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科において、社会的事象の意味を理解し、特色や相互の関連を考えることが資質・能力の向上へのステップである。まず、知識及び技能の習得が不十分である生徒も多くワークや演習問題を通じて演習経験を積むことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しや、振り返る場面の設定、グループやペアワークで考えを共有し、自分の考えに活かそうとする活動を増やす。 ・単元ごとに演習を行い、知識及び技能の習得の向上を目指す。

数学	育成を目指す資質・能力	全国学力・学力状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・計算等の技能の正確性 ・文章題の思考・判断・表現の向上 	基本的な内容は、ほとんどの生徒が理解できている。技能の正確さに加え、思考・判断・表現の向上が課題である。	習熟度別少人数指導を活かし、問題演習の解答を適時一人ひとり確認し、必要に応じて指導・助言する。また、数学と日常との関わりや数学の事象から問題を見出し、課題解決していく授業を構築することによって、思考力・判断力・表現力を養っていく。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の確実な定着 ・データのグラフ化とグラフの読み取り能力の向上 	<p>暗記した知識を記述することは得意だが、キーワードを用いて説明したり、計算結果やグラフの内容から考察する活動について、苦手としている生徒が多い。また、単元内容(特に「電流と磁界」や「質量保存の法則」など)によって理解度に差も見られる。基礎・基本の確実な定着と、データのグラフ化や計算のトレーニング、化学変化と質量の関係の十分な理解等が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストやスモールステップ学習等で基礎の確実な定着を行う。 ・教え合う授業を行い、ある程度理解している生徒の確実な理解を促すとともに、理解が不十分な生徒のミニティーチャーによる理解度向上を図る。 ・グラフの扱いを、基本から応用まで、例題や練習問題に取り組みながら時間をかけて行う。 ・具体例を多く示しイメージをつかみやすくするとともに、小テストによる知識の定着を図る。 ・問題集、演習問題等を利用した数値を扱った内容や、グラフの扱いについて時間をかけて行う。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<p>音楽に対する感性を働かせて、音楽を形作っている要素とその働きの視点でとらえ、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化と関連づける。</p>	<p>楽譜の特徴や構成を理解する力と実技においては、アーティキュレーションや、歌唱における発声の工夫が課題である。</p>	<p>歌唱や器楽において、反復練習とゆっくり練習が最も大切な基本練習となる。その上でアーティキュレーションやアゴーギグなどの技術や表現を工夫していくことを心がける。対話的な学び合いを音楽によって図りながら指導する。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に発想し、構想を練る力 ・基礎・基本的な技能を習得し、創造的に表す力 	<p>制作の期間内に作品を完成させられない生徒が多く、見通しをもって計画的に制作を進める力に課題がある。</p>	<p>授業開始時に、制作の目的や目標を明確にし、見通しをもたせる。制作の活動と鑑賞の学習を関連させ、発想力・構想力を高める。平塗りや浮彫りなどの基礎技能を定着させ、応用力を培う。鑑賞の授業では、美術作品と歴史や生活との関係を確認し、より深い学びにつなげる。</p>

保健体育	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	運動構造や運動の行い方の深い理解とその運動の実現に向けて自己の課題を設定し、自己調整しながら取り組んでいく力	新体力テストでは、全国・都の平均を下回っている。基本的な運動能力は低い傾向にあるが、定期考査等の学習面においては、高い数値を出せるため、運動のポイントを理解することは早い。	運動構造の分解と段階的な指導により、運動構造の理解に努める。また、その運動を行っていく際に必要な力や技術、動きを理解させるために学習用 iPad 等を使用し可視化する。また、客観的なアドバイスをし、運動の躓きの理由を考えさせて自己調整を図らせる。

技術・家庭	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	身近な生活の課題を自ら発見し、その課題をどのように解決するか情報収集、話し合い活動を行って追及し、課題を解決していく力を身につける。	基礎・基本的な内容は、理解できている生徒が多い。 身近な生活、社会の最適化を行うために、思考・判断・表現の向上が課題である。	ガイダンスで、おおまかな題材の流れを説明し、身近な生活、社会の課題を把握し、系統性をもって課題を発見し、解決できるよう取り組ませる。また各授業の始まりで目標を明確にし、フローチャートを提示し、どこで躓きがあるか確認させる。

外国語(英語・国際)	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<p>【3年】英文を正確に書く力</p> <p>【2年】単語を正確に書く力と語形変化や語法を理解する力</p> <p>【1年】文の構造を理解する力</p>	基本的な英単語や基本文の理解はほとんどの生徒ができています。また、それらを用いて聞くこと・読むこと・話すこと・書くことに取り組もうとする意欲がある。話すこと(やり取り)に関しては、ペアやグループで積極的に行っているが、クラス全員の前でのスピーチでは声の大きさやアイコンタクトに課題がある。十分な練習時間をとって、自信をもってパフォーマンスができるよう指導の改善が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ビンゴを用いた帯学習による繰り返しの単語学習に加え、語彙に関する小テストを行い、定着を図る。 ・ビンゴを用いた帯学習による繰り返しの単語学習や小テストを行う。また、演習問題を通して基本的な文法操作の定着を図る。 ・音読練習や会話活動に重点を置くことにより文の構造をインプットし、授業プリントで定着を図る。

道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的諸価値とその多様性を理解し、物事を多面的・多角的に考え他者を受容し、自身の考えを深める力 ・自分がどのように生きるかについて道徳的に判断していこうとする能力 	道徳ノートには自分の考えを書くことができるが全体に意見を発表できない生徒や、意見は意欲的に発表できるが、自分の考えをノートにまとめられない生徒がいる。	話し合い活動を充実させ、他者の考えを受容する態度を培うことで、物事を多面的・多角的に考えさせ、自身の考えを深める力を養う。発問の精選をし、問い返しを行うことで生徒の考えを深め、道徳的実践意欲や道徳的実践力を培う。

特別活動	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで課題を設定し、他者と協力しながら集団の一員として課題解決に取り組む力 ・自分が所属する集団をより良いものにしていこうとする態度 	生徒会活動や学校行事における、リーダーが育ち、生徒自ら作り上げる場面が多くなってきた反面、集団の一員としての自覚に欠ける生徒もいるため、周りとは協力できる集団を育成することが課題である。	学級活動、生徒会活動、学校行事において、生徒たち自身に課題を設定させ、どのように解決・達成していったら良いかを考えさせる。そこで集団の中での役割を自覚させ、集団としてよりよいものを作り上げていこうとする態度を様々な人の立場を考えさせることを重視しながら育てていく。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	主体的に課題を設定し、その課題を探求していく過程を理解し、各教科で身に付けた資質・能力を生かしながら他者と協働して課題解決していく力	生徒たちが課題を探求していくためには探求のプロセスをよく理解する必要がある。	各教科で身に付けた力を横断的に活用させ、様々な意見を受け入れながら話し合い、自分たちのアイデアをまとめ、相手の立場に立って伝わりやすい発表を行う機会を意図して設定していく。